



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月9日

上場会社名 株式会社 昭和真空

上場取引所 東

コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0392

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,816	7.6	167	61.1	187	72.5	134	87.3
2022年3月期第1四半期	1,687	30.0	103	68.8	108	68.0	71	71.2

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 181百万円 (18.1%) 2022年3月期第1四半期 153百万円 (36.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	21.79	
2022年3月期第1四半期	11.63	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	16,484	10,864	65.9	1,764.15
2022年3月期	17,398	11,057	63.6	1,795.40

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 10,864百万円 2022年3月期 11,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		60.00	60.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	19.8	849	20.2	864	21.9	575	13.0	93.37
通期	12,500	4.5	1,570	6.0	1,609	5.4	1,081	12.8	175.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	6,499,000 株	2022年3月期	6,499,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	340,349 株	2022年3月期	340,449 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	6,158,618 株	2022年3月期1Q	6,158,351 株

2023年3月期1Qの期末自己株式数には、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産とし(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式69,700株が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件などについては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
3. 補足説明	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、「感染症」との共存を前提とした行動制限緩和によるサービス消費やポストコロナ時代を見据えたデジタル化などの投資をけん引役として緩やかな回復基調にあるものの、中国における感染症拡大によるロックダウンの影響及びウクライナ情勢の長期化などを背景に、サプライチェーンの混乱や資源及び原材料並びに食糧価格高騰などのリスク要因が顕在化しました。

わが国経済は、感染症対策の行動制限が解除され、経済社会活動の正常化が進む中で持ち直しの動きがみられましたが、資源や原材料価格の上昇や供給面での制約、外国為替市場での急激な円安進行など、依然として不確実性が高い状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、5Gの普及、自動車の電装化や自動運転技術向上、IoTで全ての人とモノがつながる社会の進展など「新しい生活様式」の実現に向けた技術革新を背景に電子部品業界の次世代製品開発への取り組みは継続しました。一方で、中国における感染症拡大やウクライナ情勢の影響により世界のスマートフォン出荷台数が減少したことなどを受け、設備投資は様子見姿勢が強まりました。

こうした環境の中、当社グループは、主要取引先電子部品メーカーの開発投資需要へ対応するとともに、新規先を含めた電子部品メーカーからのサンプル成膜依頼や共同開発に積極的に取り組むなど、既存技術応用分野及び新規市場の開拓を含めた営業活動を継続しました。

生産面では、期初受注残は高水準でスタートしたものの、前期から継続している資機材長納期化に加え、中国上海地域ロックダウンの影響により中国子会社からの資機材入荷が停止したことにより本社工場稼働率が低下する局面がありました。また、中国子会社社員による輸出済装置の据付作業も停止したため、売上計上時期が第2四半期以降に後倒しとなる案件が多数発生しました。ロックダウン解除後は、資機材入荷が順調に推移し本社工場稼働率は回復、据付作業も再開し、生産や納品の遅れを取り戻すことに努めました。

損益面では、案件ごとの利益率向上を意識した営業や生産活動、品質管理体制強化による初期不良抑制、継続的な経費削減に取り組み、利益確保に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高は28億56百万円(前年同四半期比15.0%減)、売上高は18億16百万円(同7.6%増)となりました。

損益につきましては、経常利益1億87百万円(前年同四半期比72.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億34百万円(同87.3%増)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の受注高は21億9百万円(前年同四半期比29.3%減)、売上高は10億69百万円(同18.3%減)、セグメント利益は1億73百万円(同38.8%減)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、世界のスマートフォン出荷台数が減少したことなどを受け、デバイスメーカーの設備投資は様子見姿勢となりました。売上に関しては、資機材長納期化の影響や顧客の設備導入計画変更などにより納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

水晶デバイス装置の受注高は3億49百万円(前年同四半期比80.6%減)、売上高は6億63百万円(同37.2%減)となりました。

(光学装置)

光学業界では、スマートフォンのカメラ性能向上やメタバース市場の拡大などを見越した開発・増産投資計画はあるものの、スマートフォンを含めた最終製品の出荷が低調に推移していることなどを受け、デバイスメーカーの設備投資は様子見姿勢となりました。売上に関しては、装置据付後の性能確認作業などに時間を要したことにより売上計上時期が後倒しとなる案件がありました。

光学装置の受注高は6億21百万円(前年同四半期比21.3%増)、売上高は2億42百万円(同145.2%増)とな

りました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、医療、太陽光発電及び自動車分野並びにSAWフィルタやBAWフィルタに係る装置の受注を獲得しました。新規市場の開拓を継続的に行うとともに、顧客との共同開発やサンプル成膜依頼に積極的に取り組むことを通じて受注獲得に努めました。売上に関しては、中国上海地域ロックダウンの影響により納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

電子部品装置・その他装置の受注高は11億38百万円(前年同四半期比68.9%増)、売上高は1億63百万円(同6.6%増)となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する定期的な稼働状況確認による潜在ニーズの掘り起こし及び生産性向上提案による装置の改造・修理や消耗品の販売に努めました。光学デバイスメーカーの生産用途変更及び生産性向上ニーズへの対応などにより改造工事が前年比大幅に増加しました。

サービス事業の売上高は7億47百万円(前同四半期比97.2%増)、セグメント利益は2億32百万円(同251.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は125億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億30百万円減少しました。これは主に仕掛品が5億47百万円、契約資産が3億27百万円増加したものの、売掛金が14億39百万円、現金及び預金が2億27百万円、受取手形が2億4百万円減少したことによるものです。固定資産は39億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円減少しました。これは主に投資有価証券が57百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は164億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億13百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は46億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億36百万円減少しました。これは主に電子記録債務が1億85百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が5億85百万円、未払法人税等が3億5百万円、賞与引当金が1億32百万円、役員賞与引当金が1億13百万円減少したことによるものです。固定負債は9億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円増加しました。これは主に退職給付に係る負債が10百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は56億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億21百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は108億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億92百万円減少しました。これは主に利益剰余金が2億39百万円減少したことによるものです。

純資産の減少以上に負債が減少した結果、自己資本比率は65.9%(前連結会計年度末は63.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2022年5月11日付「2022年3月期決算短信」にて発表した業績予想に変更はありません。今後、国内外における感染症の影響による行動制限、当社装置を製造するために必要となる資機材の調達環境悪化により、当社業績が大きな影響を受ける可能性があります。

当社グループを取り巻く市場動向を注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,065,720	4,837,896
受取手形	633,171	428,441
売掛金	3,780,511	2,340,845
契約資産	94,508	422,338
商品及び製品	369	1,018
仕掛品	3,426,328	3,973,510
原材料及び貯蔵品	235,761	295,188
その他	155,613	262,213
貸倒引当金	△2,349	△2,505
流動資産合計	13,389,635	12,558,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,038,723	1,032,573
機械装置及び運搬具(純額)	177,800	196,798
土地	1,970,562	1,970,562
建設仮勘定	60,294	69,520
その他(純額)	134,601	124,440
有形固定資産合計	3,381,982	3,393,894
無形固定資産		
リース資産	6,642	5,971
その他	47,533	45,937
無形固定資産合計	54,176	51,909
投資その他の資産		
投資有価証券	242,259	185,227
繰延税金資産	244,885	208,898
退職給付に係る資産	57,639	58,340
その他	27,912	27,403
貸倒引当金	△279	△279
投資その他の資産合計	572,418	479,590
固定資産合計	4,008,576	3,925,394
資産合計	17,398,212	16,484,342

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,483,420	897,715
電子記録債務	1,797,758	1,982,982
短期借入金	49,908	49,908
リース債務	10,150	9,347
未払費用	215,717	223,392
未払法人税等	321,959	16,024
前受金	1,003,682	1,042,004
賞与引当金	265,040	132,859
役員賞与引当金	113,000	-
製品保証引当金	56,400	54,400
工事損失引当金	22,600	30,900
その他	36,380	199,708
流動負債合計	5,376,017	4,639,244
固定負債		
社債	450,000	450,000
長期借入金	92,833	93,362
リース債務	18,070	16,026
退職給付に係る負債	293,097	303,536
株式給付引当金	36,402	42,683
長期未払金	74,738	74,736
固定負債合計	965,144	980,344
負債合計	6,341,161	5,619,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,793,805	2,793,805
利益剰余金	6,090,772	5,851,250
自己株式	△318,284	△318,146
株主資本合計	10,743,397	10,504,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129,283	94,443
為替換算調整勘定	180,832	262,810
退職給付に係る調整累計額	3,536	3,484
その他の包括利益累計額合計	313,653	360,738
純資産合計	11,057,050	10,864,753
負債純資産合計	17,398,212	16,484,342

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	1,687,908	1,816,966
売上原価	1,161,933	1,207,650
売上総利益	525,975	609,316
販売費及び一般管理費	421,978	441,806
営業利益	103,997	167,509
営業外収益		
受取利息	1,112	2,218
受取配当金	183	238
受取賃貸料	508	583
補助金収入	3,330	5,433
為替差益	-	11,000
その他	743	1,325
営業外収益合計	5,879	20,799
営業外費用		
支払利息	422	633
支払保証料	399	382
売上割引	85	7
為替差損	124	-
その他	366	208
営業外費用合計	1,398	1,232
経常利益	108,477	187,076
特別利益		
投資有価証券売却益	-	5,788
特別利益合計	-	5,788
税金等調整前四半期純利益	108,477	192,865
法人税、住民税及び事業税	12,239	7,054
法人税等調整額	24,609	51,630
法人税等合計	36,848	58,685
四半期純利益	71,628	134,179
親会社株主に帰属する四半期純利益	71,628	134,179

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	71,628	134,179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,297	△34,839
為替換算調整勘定	62,027	81,977
退職給付に係る調整額	541	△51
その他の包括利益合計	81,865	47,085
四半期包括利益	153,494	181,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,494	181,265

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2020年11月6日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度(以下、「本制度」という。)を2020年11月24日より導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し当社の業績等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとしします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第1連結会計年度末は96,673千円、69,700株です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,308,899	379,009	1,687,908
セグメント間の内部売上高 又は振替高	848	318	1,166
計	1,309,747	379,327	1,689,074
セグメント利益	284,338	66,303	350,642

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	350,642
セグメント間取引消去	5,037
全社費用(注)	△251,682
四半期連結損益計算書の営業利益	103,997

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,069,435	747,530	1,816,966
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,377	3,459	6,837
計	1,072,813	750,990	1,823,803
セグメント利益	173,999	232,893	406,893

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	406,893
セグメント間取引消去	6,838
全社費用(注)	△246,223
四半期連結損益計算書の営業利益	167,509

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	1,056,871	131,707	1,188,579
光学	98,787	113,563	212,350
電子部品	153,240	94,095	247,335
その他	—	39,643	39,643
顧客との契約から生じる収益	1,308,899	379,009	1,687,908
外部顧客への売上高	1,308,899	379,009	1,687,908

当第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	663,947	103,113	767,061
光学	242,205	449,278	691,484
電子部品	163,282	127,782	291,064
その他	—	67,355	67,355
顧客との契約から生じる収益	1,069,435	747,530	1,816,966
外部顧客への売上高	1,069,435	747,530	1,816,966

3. 補足説明

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	663,947	62.8
光学装置	242,205	245.2
電子部品装置	163,282	106.6
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,069,435	81.7
サービス事業		
部品販売	279,217	114.7
修理・その他	469,373	347.1
サービス事業計	748,590	197.7
合計	1,818,026	107.7

(注) 上記の金額は販売価格によっております。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	349,082	19.4	2,934,601	62.3
光学装置	621,155	121.3	2,995,953	125.1
電子部品装置	1,138,762	168.9	2,123,192	176.7
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	2,109,000	70.7	8,053,747	96.9
サービス事業				
部品販売	278,157	114.1	—	—
修理・その他	469,373	347.1	—	—
サービス事業計	747,530	197.2	—	—
合計	2,856,531	85.0	8,053,747	96.9

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	663,947	62.8
光学装置	242,205	245.2
電子部品装置	163,282	106.6
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,069,435	81.7
サービス事業		
部品販売	278,157	114.1
修理・その他	469,373	347.1
サービス事業計	747,530	197.2
合計	1,816,966	107.6

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。